



組込みソフトウェア技術者試験

クラス2 試験要綱



目次

1. ユビキタス社会を支える組込み技術者	3
2. 組込みソフトウェア技術者試験とは	3
3. 組込みソフトウェア技術者試験の構成	4
■クラス2試験の特徴	4
■組込みソフトウェア技術者試験クラス2（エントリレベル）	4
■クラス2試験で問う内容	5
4. クラス2試験の対象者像	6
5. 出題範囲	7
■技術要素	7
■開発技術	8
■管理技術	9
■継続的な見直し	9
6. 試験のメリットと特長	9
7. 試験時間および出題形式・内容	10
8. 受験料	10
9. 試験の実施方法	11
10. 証明の方法	11
11. 試験結果と使い方	11
12. 再受験について（リテイクポリシー）	13
13. 試験問題の品質保証	14
14. 受験のステップ	14
15. 試験の実施	15
16. 試験会場検索	16
17. オンライン予約方法	16
18. 受験時必要なもの	17
19. 受験チケット（バウチャー）	19
20. 個人情報保護について	19
21. 試験主催団体概要	20

1. ユビキタス社会を支える組み込み技術者

近時のコンピュータ技術やネットワーク技術の発展は、社会に革命的な変化をもたらしつつあります。あらゆる機器にコンピュータが入り、ネットワークで情報を交換するユビキタス・コンピューティング環境が現実化しようとしています。つい一昔前に、SF 漫画や小説の世界の話であったものが現実の世界として実現され始めています。日常生活を支える各種の機器の中にはコンピュータが存在するようになってきています。家電製品、自動車、携帯電話等、コンピュータの機能なくしては、もはや製品として存在することはできません。

これらのコンピュータを組み込んだ製品を組み込み機器と呼び、そうした製品に組み込まれるコンピュータを「組み込みシステム」と呼びます。組み込みシステムを稼動させるソフトウェアを「組み込みソフトウェア」と呼びます。

ユビキタスの進展とともに、それを支える「組み込みソフトウェア技術」の重要性は非常に高まってきています。多くの「ものづくり」は「組み込みソフトウェア技術」なしでは不可能になってきています。「組み込みソフトウェア技術」が、製品開発の鍵を握る時代となってきました。

重要性を増す「組み込みソフトウェア技術」も、今のところは他のソフトウェア技術と同様に「組み込みソフトウェア開発技術者」によって担われています。ものづくりの独創性、製品価値の優劣、製品の安全性などが組み込みソフトウェア開発技術者の肩にかかることとなっています。そのため高度な専門知識・技術と豊富な経験を持った技術者が求められるに至っています。

2. 組み込みソフトウェア技術者試験とは

ものづくりにおける「組み込みソフトウェア開発技術者」の役割が飛躍的に大きくなり、その育成とスキル向上は、官民あげての大きな課題となっています。また、増大するニーズのために、高度な専門知識・技術と豊富な経験を持った「組み込みソフトウェア開発技術者」の不足は深刻な状態となっています。ソフトウェアの品質の確保が、ユビキタス社会の信頼性と安全性を担保するともいえる展望の中で、技術者の技能向上は社会的な要請となっています。

このような状況の下、組み込みシステム分野の業界団体である社団法人組み込みシステム技術協会（JASA）は、業界発信の組み込み技術者向け試験制度として組み込み技術者試験制度（Embedded Technology Engineer Certification、通称「ETEC（イーテック）」）を創設しました。

この ETEC の中で、JASA が最初に実施する試験が「組み込みソフトウェア技術者試験クラス2」です。組み込みソフトウェア技術者としての知識レベルの指針となるとともに、キャリア指標の一つとなることを目的としています。試験の特徴として、合否判定ではなく点数（スコア）方式を採用し、学習の達成度判定、技術者評価などに活用ができます。また

試験は何度でも受験可能であり、技術者の学習意欲を支援します。

「組込みソフトウェア技術者」の技術向上の指針として、モチベーション向上のツールとして、また客観的な指標として活用されることを願っています。

※¹ 2007 年版組込みソフトウェア産業実態調査報告書

URL <http://sec.ipa.go.jp/download/200706es.php>

3. 組込みソフトウェア技術者試験の構成

組込みソフトウェア技術者試験は次の 2 つの試験から構成されます。

- 1) 組込みソフトウェア技術者試験クラス 2 (以下、クラス 2 試験)

※本試験要綱で概要を説明

- 2) 組込みソフトウェア技術者試験クラス 1 (以下、クラス 1 試験)

※クラス 1 試験用の試験要綱は後日発表致します。

■クラス 2 試験の特徴

クラス 2 試験は、エントリレベルのソフトウェア開発技術者に必要な知識の有無を確認するための試験です。試験の結果は点数（スコア）方式で表示され、JASA はその結果を証明します。

クラス 2 試験は合否判定でなく、点数が返されることに特徴があります。そのため、個人の学習の到達度判定、技術者評価の一部資料などに幅広く利用・活用ができます。

またクラス 2 試験は何度も受験することが可能です。試験の目的の第一は、組込みソフトウェア技術者の学習意欲の向上を支援することです。悪い点だったからといって悲観する必要はありません。勉強して、再度、受験して頂けます。そのことによって、学習の到達度も判定できます。

さらに、教育機関にあっては、教育実施前と後での受講者のレベルアップの評価に利用することも可能です。

また、受験者全員に、JASA から点数（スコア）の証明書が発行されます。

■組込みソフトウェア技術者試験クラス 2 (エントリレベル)

クラス 2 試験の概要は次のとおりです。

	試験名称
日本名	組込みソフトウェア技術者試験クラス 2
英語名	Embedded Technology Software Engineer Exam Class II

	証明名称
日本名	組込みソフトウェア技術者クラス 2
英語名	Embedded Technology Software Engineer Class II
コード	ETEC-SW2
説明	組込みソフトウェア開発に関するある一定以上の知識があることを判定します。 上級者の指導のもとにプログラミング作業を行える技術者に必要とされる知識を問います。 大学・専門学校の組込みソフトウェア教育を受けている学生、卒業生、プログラミング経験がなく入社し、社内教育などで育成された組込みソフトウェア・プログラマなど、エントリレベルの技術者が修得していなければならない知識が出題されます。

■ クラス 2 試験で問う内容

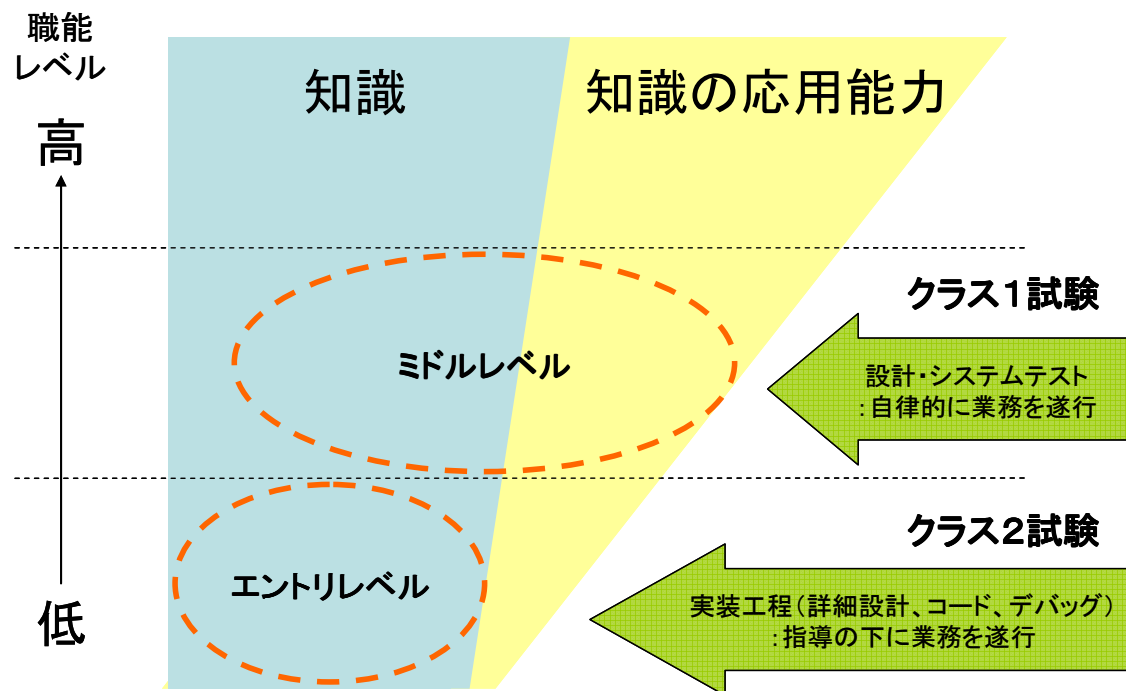
クラス 2 試験では、組込み開発で必要とされる組込みリテラシの知識から出題されます。

組込みリテラシとは、当該技術を適切に利用するにあたり、その目的や効果、機能、特徴を的確に理解していることであり、「知識」と「知識の応用能力」の 2 つから構成されます。「知識」とはその技術の意味、特徴、目的などを正確に理解していることであり、「知識の応用能力」とは業務の中でその技術を適切に応用できることです。クラス 2 試験では知識が出題され判定されます。

例として「知識」は「RS232C とは～であり、～の特徴を有する。」、「ソフトウェア単体テストは～を目的に、～のように作業する。」となります。

「知識の応用能力」の例としては、データシート、タイミングチャート、プログラムの実行履歴などを読み取れるなどの能力をいいます。

また、組込みエンジニアの職能が上がるにしたがって組込みリテラシ中で問われる能力の構成も変化し、より応用能力が問われることとなります。本試験では技術要素、開発技術、管理技術の分野の知識を問います。



4. クラス 2 試験の対象者像

クラス 2 試験では組み込みエンジニアの職種のうち、ソフトウェアエンジニアのエントリレベルを対象に試験を実施します。クラス 2 試験はソフトウェアエンジニアを主たる対象としていますが、テストエンジニアなど、その他職種の知識の確認にも利用できます。

なおエントリレベルとは、上位レベルの指導の下で、業務上における課題の発見・解決を行うことができるエンジニアを意味します。

職種名称	業務内容・職種の説明
ソフトウェアエンジニア	上位のエンジニアの指導の下に詳細設計、プログラミング、単体テスト・結合テストまでを担当する。

5. 出題範囲

クラス2試験の問題は技術要素、開発技術、管理技術の分野から出題されます。以下に各分野別の出題範囲を示します。スキル項目はクラス2試験の実施にあたり、JASA が独自に分類したものです。なお、スキル項目はこの知識しか出題しないというものではなく、こうした知識も出題されるという具体例を示しています。

■技術要素

第 1 階層	第 2 階層	第 3 階層	スキル項目
プラットフォーム	プロセッサ	プロセッサコア	MPU、バス、レジスタセット、RISC、CISC、DSP、GPU、MMU、省電力制御、パイプライン、スーパースカラ、など
		プロセッサ周辺	割込み、タイマ／カウンタ、DMA、WDT、キャッシュ、など
		メモリ	ROM、RAM、Flash メモリ、メモリインタリーブ、デュアルポートメモリ、など
	基本ソフトウェア	ブート	ROM 化、ブートローディング、スタートアップルーチン、など
		カーネル	タスク、共有ルーチン、システムコールサービス、同期、排他制御、デッドロック、など
	支援機能	デバッグ機能	ICE、JTAG、ソフトデバッガ、オシロスコープ、ロジアナ、ログ収集／解析、など

■開発技術

第 1 階層	第 2 階層	第 3 階層	スキル項目
ソフトウェア 詳細設計	ソフトウェアの 詳細設計	設計手法	分割、モジュール化、隠蔽化、フローチャート、タイミングチャート、UML、状態遷移図、設計ツール、など
		信頼性設計、実時間設計	QoS、誤り検出、など
	ソフトウェアの 詳細設計のレビュー	レビュー	レビュー手法、など
ソフトウェア コード作成と テスト	プログラムの作成と プログラムテスト項目の抽出	プログラミング	C 言語に関すること、コーディング規約、MISRA-C、プログラミング技術、チューニング技術、オブジェクトモジュール、静的解析ツール、カバレッジ、同値分割、など
	コードレビューとプログラムテスト項目のデザインレビュー	レビュー	レビュー手法、など
	プログラムテストの実施	プログラムテスト	カバレッジ、同値分割、ホワイトボックステスト、ドライバ、スタブ、自動化テスト、テストツール、など
ソフトウェア 結合	ソフトウェア結合テスト仕様の設計と実施	－	テスト環境設計／構築、テストツールの選定、直交表、カバレッジ、自動化テスト、など
クロス開発技術	－	－	オブジェクトファイルフォーマット、PIC、リロケータブルファイル、コードチューニングなど

■管理技術

第 1 階層	第 2 階層	第 3 階層	スキル項目
プロジェクト マネジメント	品質マネジメン ト	計測	品質特性、ソフトウェアメトリク ス、など
開発プロセス マネジメント	構成管理・変更管 理	目的	構成管理の目的、など

■継続的な見直し

組込みソフトウェア開発における急激な技術変化や進展に対して、スキルの項目や価値は一定ではなく刻々と変化し続けていくことが想定できます。したがって、今後当該スキル基準においてスキルの体系的な整理として継続的かつ適切に内容の妥当性を検証し、柔軟な改定を行っていくこととします。

6. 試験のメリットと特長

クラス 2 試験のメリットと特長を以下に示します。

■ 企業へのメリット

- ・ 企業の人的資産のアピール
- ・ 公的発注の指標となる。
- ・ 技術者採用の資料となる。
- ・ 共通指標によるチーム編成の資料となる。
- ・ 社内評価制度の補完資料となる。
- ・ 技術者研修の成果として使う。
- ・ 技術スキルの到達レベルの目標を示す資料となる。

■ 技術者へのメリット

- ・ 技術者・開発者の知識レベルを自己評価できる。
- ・ 学習の効果を確認できる。
- ・ 公正な評価として外部組織などに提示できる。

■ 試験制度の特長

- ・ ソフトウェアエンジニアのエントリーレベルにフォーカスした試験
- ・ 点数（スコア）方式の評価方法による到達度判定が可能な試験
- ・ 組込みソフトウェア技術者の人材育成の促進、能力向上の指標となる試験
- ・ 再受験可能な、学習意欲向上を支援する試験
- ・ 組込み技術に従事する技術者に共通して必要な知識の物差しとして活用できる試験

- ・ 合否判定でないため、技術者の受験時の知識評価ができる試験
- ・ 公的な団体が実施する公平・公正な試験

■ 受験環境の特長

- ・ 分野別評価によって技術の強みが分かる。
- ・ 毎日受験ができ、その場で点数（スコア）が判る。
- ・ 全都道府県に試験会場があり、受験環境が整っている。
- ・ インターネットから受験予約が可能
- ・ 受験のセキュリティがしっかりしていて安心して受験が可能

7. 試験時間および出題形式・内容

クラス2 試験の試験時間および出題形式、内容について下記表にて示します。

試験名称	試験時間	出題形式	出題内容	評価方法
組込みソフトウェア技術者試験 クラス2	90 分 (守秘義務契約およびアンケートを含む)	多肢選択式 (四肢択一) 120 問	5. 出題範囲を参照してください。	◆ スコア：800 点満点 ◆ グレード：A、B、C ◆ 各分野評価：正答率 (%)

8. 受験料

本試験の受験料を以下の表に示します。受験料には受験受付、試験の実施、証明書等、一切が含まれています。

試験種類	受験料
クラス2 試験	通常価格：15,750 円（税込み）

■ 企業／団体様向け受験チケットの受験料割引特典（ボリュームディスカウント）

企業／団体様からの 10 枚以上のまとまった受験チケット（バウチャー）のご購入の場合は、ディスカウント価格で提供させていただきます。

- 10 枚 ～ 49 枚の注文 = 5% オフ
- 50 枚 ～ 99 枚の注文 = 10% オフ
- 100 枚以上の注文 = 15% オフ

詳細は、ETEC のホームページ (<http://www.jasa.or.jp/etec/discount/index.html>) でご確認ください。

■ アカデミックチャレンジ

学生・教職員の方向けに特別価格の 9,000 円／枚（税込み）で受験して頂くことができる、アカデミックチャレンジを 2009 年 3 月末まで実施しております。アカデミックチャレンジ用の受験チケット（バウチャー）をプロメトリック社から購入して頂きます。銀行振込のみ受け付けております。

詳細は、ETEC のホームページ (<https://www.e-ssl.jp/~certpro/academic/>) でご確認ください。

9. 試験の実施方法

試験は CBT (Computer Based Testing) によって実施します。受験者はインターネットによるオンライン予約で受験申し込みを行えます。また、全国にある試験会場で受験できます。会場では本人確認が行われ、受験者は会場に用意されたコンピュータから出題される問題を、コンピュータに対して解答します。

試験結果はその場でスコアレポートによって確認ができます。

CBT による試験で従来型の試験のように指定された場所や決められた日時に受験する必要がなく、受験者の都合に合わせ、場所や日時を自由に選択することができます。

10. 証明の方法

試験終了後、試験会場から渡されるスコアレポートにより取得した点数（スコア）が確認できます。後日、JASA から点数（スコア）の証明書が発行されます。

一定期間の後、再受験することができます。（再受験に関して「12. 再受験について」をご覧ください。）

11. 試験結果と使い方

クラス 2 試験は、合否判定を行なうものではありません。JASA はクラス 2 試験の結果について点数により証明を行い、証明書を発行します。証明書は「JASA 組込みソフトウェア技術者クラス 2 証明書 受験日：xxxx (年)／xx (月)／xx (日) スコア：xxx 点 グレード：X (技術要素：xx% 開発技術：xx% 管理技術：xx%)」の記載とともに JASA の証明として受験者全員に発行します。

クラス 2 試験のスコアは 800 点満点の総合点で評価しています。またグレードは総合点をクラス分けしたものです。各クラスの評価は下表に示します。この評価は問題を作成した JASA の ETEC 試験委員会としての意見です。今後の学習の参考になしてください。

また、出題範囲の 3 つの分野（技術要素、開発技術、管理技術）の正答率（％）を示しています。不得意分野をなくして、バランスのとれた知識を獲得するための勉強の参考にし

てください。

■ クラス 2 試験スコアと意味

スコア評価：800 点満点

クラス 2 スコア	グレード	意味
	クラス 2 グレード A (2A)	技術要素、開発技術、管理技術に関してエントリレベルに要求される組込み技術知識を十分に保有しています。 これらの知識を応用して「上級者の指導のもとに」実務能力を高められることを期待します。
	クラス 2 グレード B (2B)	技術要素、開発技術、管理技術に関してエントリレベルに要求される組込み技術知識を保有していますが、まだ不足する部分も見受けられます。実務経験を通じてスキルの蓄積を行いながら、不足する知識を習得してください。
	クラス 2 グレード C (2C)	組込みソフトウェア開発関連業務に要求される組込み技術知識が不十分であり、実務に携わるには更なる知識の習得が必要です。

■ 技術要素、開発技術、管理技術、各分野評価について

当該分野の範囲の問題のそれぞれの正答率を示しています。全受験者の分野別正答率平均値を HP で公開いたしますので（四半期毎に更新）、ご自身の評価の参考として、また企業の社内評価制度、社内研修の成果などにご利用ください。

証明書サンプル

SAMPLE

組込み技術者試験制度

JASA組込みソフトウェア技術者クラス2証明書

受験日: 2008/06/02 スコア: 800 点

グレード: A (技術要素: 100% 開発技術: 100% 管理技術: 100%)

山田 太郎 様

貴方は組込みソフトウェア技術者試験クラス2において、
願書の成績を修められた事を
ここに証明致します。

組込みシステム技術協会 松尾隆彦

クラス2スコア：点数で表します。

JASA組込みソフトウェア技術者クラス2証明書

受験日: 2008/06/02 スコア: 800 点

グレード: A (技術要素: 100% 開発技術: 100% 管理技術: 100%)

山田 太郎 様

グレード：A、B、C で表します。

各分野評価：それぞれ正答率を示します。

12.再受験について（リテイクポリシー）

同一試験を受験する際、2 回目の受験については、受験日の翌日から起算して 30 日目以降（土日含む）より可能となります。

3 回目以降の受験については、最後の受験日の翌日から起算して 60 日目以降より可能となります。

■ 最短期間の受験例

受験回数	受験・再受験日
受験 1 回目	2007 年 1 月 1 日受験
受験 2 回目	2007 年 1 月 31 日再受験
受験 3 回目	2007 年 4 月 1 日再受験

■ ご注意

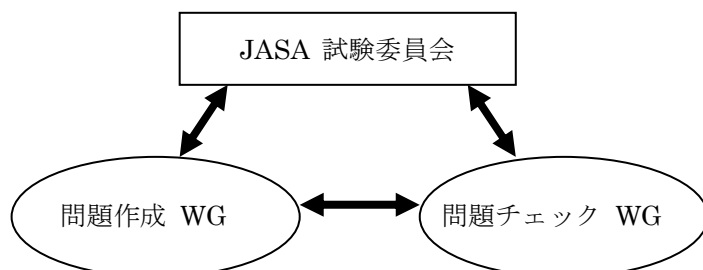
- 1) リテイクポリシーに違反をしても受験受付のシステムでは登録できてしまいます。
(現時点ではシステム上のチェックはありません。予約時に同意画面でリテイクポリシーの確認を致します。)
- 2) リテイクポリシーに違反して受験し、証明が取り消しになった際には、一切受験料の払い戻しは致しません。

※ 不正に対する規定は ETEC ホームページ (<http://www.jasa.or.jp/etec/jasa/fusei.html>) でご確認ください。

13. 試験問題の品質保証

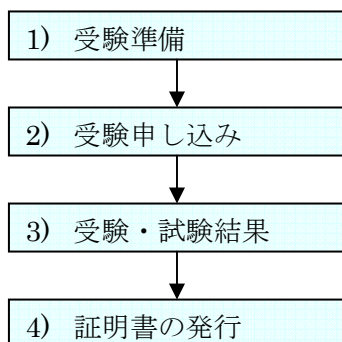
本試験には試験委員会が設けられており、各分野で広い見識を培われた大学教授などが携わっています。試験委員会では試験の方針、制度、仕組み、証明などについて取りまとめています。並びに問題の品質確保とレベルの妥当性評価を行っています。

試験委員会の下部に問題作成ワーキンググループと問題チェックワーキンググループの2つの独立したワーキンググループがあり、試験問題作成と試験問題チェックを行っています。また定期的に問題の追加・入れ替え、問題レビューを行っており、高い品質保証の観点から運営体制を築いております。



14. 受験のステップ

受験のステップを以下に示します。



1) 受験準備

- ・ 試験要綱で求められているスキルを確認します。
 - ・ 教育パートナーより提供されるトレーニングコース、並びに書籍パートナーから提供される認定書籍や推奨書籍を利用し、受験に備え、必要な知識を身につけます。
- ※ 今後、トレーニングコースや推奨書籍の情報は順次追加していきます。最新の情報は ETEC ホームページをご覧ください。
- ※ スキルチェックミニテストや ETEC メールマガジンなどを提供しています。詳細は ETEC ホームページをご覧ください。

2) 受験申し込み

- ・ 試験は、全国にある試験会場にて毎日実施されています。
- ・ お申し込みはインターネットによるオンライン予約で受け付け致します。
- ・ 試験予約、空席状況、スケジュール確認はプロメトリック社ホームページにて行ってください。

【プロメトリック社】

URL <http://it.prometric-jp.com/>

3) 受験・試験結果

- ・ 事前に予約した試験会場にて受験します。
- ・ 試験結果は試験終了後、スコアレポートに記載されています。
- ・ スコアレポートの再発行は致しませんので大切に保管してください。

4) 証明書の発行

- ・ 受験者には、「JASA 組込みソフトウェア技術者クラス2 証明書 受験日：xxxx (年)／xx (月)／xx (日) スコア：xxx 点 グレード：X (技術要素：xx% 開発技術：xx% 管理技術：xx%)」という証明書を受験者全員に発行します。
- ・ 証明書は受験後 1 ヶ月以内にお手元に届きます。

15. 試験の実施

試験の日程は ETEC 運営事務局の委託を受け、プロメトリック社が試験会場を提供し、試験の実施をしています。試験会場は全都道府県にあり、ほぼ毎日実施しています。お申し込みはインターネットによるオンライン予約で受け付け致します。

5 名以上の団体予約は以下の URL から団体予約サービスをご利用ください。

URL http://it.prometric-jp.com/reserve/option_01.html

試験実施日	毎日
試験会場	全国 160 ヶ所以上

16. 試験会場検索

全国 160 ヶ所以上ある試験会場からご希望の地域の試験会場をプロメトリック社のホームページより検索することができます。

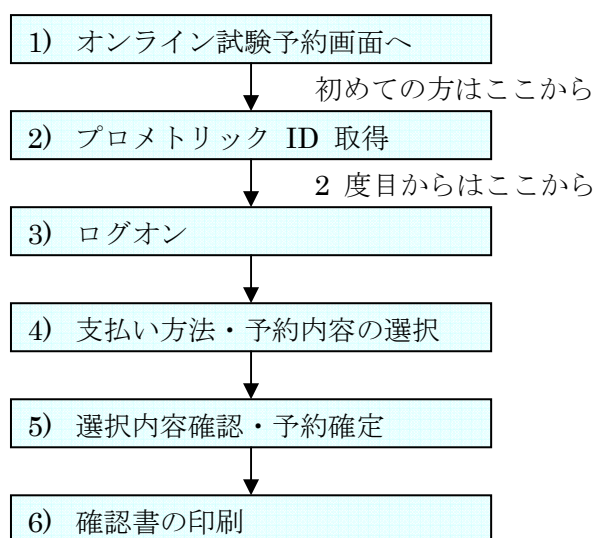
URL http://it.prometric-jp.com/center_map/index.html

17. オンライン予約方法

インターネットによるオンライン予約の手順を示します。

■ 予約のご注意

受付期限は試験日の 3 営業日前（土、日受験の場合は 4 営業日前）の 24 時までとなります。



1) IT 試験オンライン試験予約画面へ

URL <http://it.prometric-jp.com/reserve/index.html>

2) プロメトリック ID を取得

プロメトリックで初めて受験の場合は ID を取得してください。

3) ログオン

- ・ 予約の方は「新規予約」、予約変更および確認の方は「予約内容の確認及び変更」へ進んでください。
- ・ ポリシーに同意し、注意事項を確認します。（個人情報保護、キャンセル規定など）
- ・ 受験する試験を選択してください。
- ・ FIRST NAME、FAMILY NAME、プロメトリック ID、パスワードを入力します。
- ・ 個人情報をご確認ください。
- ・ 試験の言語を選択します。

※ クラス 2 試験 は現時点では日本語のみとなります。

4) 支払い方法・予約内容の選択

- ・ 後払い（請求書）・受験チケット（バウチャー）・クレジットカード（SSL 画面のみ）の中からご希望の支払方法を選択します。予約時に表示される「申し込み案内／注意事項」をご確認ください。

【支払い方法の種類】

支払い方法	処理内容
後払い	銀行・コンビニエンスストア支払いの請求書が受験後に発送されます。
クレジットカード払い	AMEX、JCB、VISA、MASTER、DC が利用できます。受験後引落しされます。（承認不可の場合は後払い請求書が発行されます。）
受験チケット（バウチャー）	予約前にバウチャーを入手してください。バウチャーに関しては「19. 受験チケット（バウチャー）」をご覧ください。）

- ・ 試験科目・試験会場・日時を選択します。

5) 選択内容を確認後、予約を確定します。

6) 確認書を印刷します。

※ 受験時に必要な確認書および会場地図を印刷してください。

18. 受験時必要なもの

受験には下記の書類が必要ですので必ずご用意ください。

■ 確認書

確認書には氏名、プロメトリック ID、試験科目、日時、会場および受験に関する注意事項が明記されています。必ず内容をご確認ください。

■ 有効な本人確認書類

試験会場では、本人確認書類を提示してください。本人確認書類を提示できない場合、受験できません。（受験料はお支払い頂きます。）受験の際は本人確認書類を忘れないよう、ご注意ください。

本人確認書類とは

受験される際は、有効期限内の本人確認書類の原本（コピー不可）が 2 点必要です。本人確認書類 2 点は、グループ A より 1 点、グループ B1、または、B2 より 1 点を試験会場でご提示ください。

また、『予約登録上の氏名』と『本人確認書類 2 点の氏名』が同一であることを必ず確認してください。

グループ	例
グループ A (顔写真付に限る)	運転免許証、住民基本台帳カード、社員証、パスポート、その他の顔写真付本人確認書類
グループ B1 (自筆署名付に限る)	クレジットカード、パスポート、公立図書館・施設利用者カード、その他の自筆署名付本人確認書類
グループ B2 (右記 3 点に限る)	健康保険証、健康保険カード、住民票（交付日より 3 ヶ月以内）

【注意事項】

受験日当日、本人確認書類 2 点をご提示できない場合、受験はできません。（受験料はお支払い頂きます。）

写真と署名の両方が付いている本人確認書類 1 点（※）での受験は認められません。

※ パスポート、写真付きクレジットカード

「社員証」とは以下 4 点を満たしたものを指します。

全てを満たしていない場合は、他の本人確認書類をご用意ください。

- 1) 顔写真が貼付されており、本人確認ができること
- 2) 顔写真には割り印、エンボス、ラミネート加工のいずれかがされていること。または、プラスチックカードに印刷されていること
- 3) 受験者氏名（姓・名ともに）が記載されていること
- 4) 企業名・団体名または企業ロゴ・団体ロゴが記載されていること

■ プロメトリック ID カード

初めて受験される方、紛失された方には当日試験会場受付で発行致します。

19.受験チケット（バウチャー）

受験チケット（バウチャー）とは、受験料のお支払方法の一つです。「バウチャー番号」と「バウチャー有効期限」をエクセルファイルに記載し、メール添付の形でお送り致します。

1) 注文方法

■ 企業向け受験チケット（バウチャー）

ETEC のホームページ (<http://www.jasa.or.jp/etec/discount/index.html>) から専用の申込書をダウンロードして頂き、FAX で ETEC 運営事務局までご送付ください。ご注文から約 1 週間で、ETECC 運営事務局よりご担当者様宛に、メール添付の形でバウチャーをお送り致します。ご担当者様から受験者の方々へ、バウチャー番号とバウチャー有効期限をお知らせください。（試験のオンライン予約をする際に、バウチャー番号・有効期限の入力が必要となります。）

請求書は、ETECC 運営事務局からバウチャー納品後に送付致します。銀行振込のみ受け付けております。

■ 学生・教職員向けアカデミックチャレンジ受験チケット（バウチャー）

ETEC のホームページ (<https://www.e-ssl.jp/~certpro/academic/>) からアカデミックチャレンジをお申し込みください。ETECC 運営事務局から受験者の方へ、「受験チケット注文書」のフォームをメール添付の形でお送り致します。お送りしたフォームでプロメトリック社へバウチャー注文を行なってください。お支払い先もプロメトリック社となり、またバウチャーもプロメトリック社より送付されます。

手続きの詳細は ETECC のホームページ (<https://www.e-ssl.jp/~certpro/academic/>) をご覧ください。

2) 使用方法

プロメトリック社で試験予約をする際に、バウチャー番号とバウチャー有効期限を忘れずに入力してください。なお、試験会場でのバウチャー番号・バウチャー有効期限の提示は必要ありません。

20.個人情報保護について

本試験では利用者から提供頂いた個人情報の取り扱いには細心の注意を払い、利用者のプライバシーを尊重致します。当協会が個人情報を扱う際には、安全に取り扱われるよう、適切かつ十分な監督を実施しております。

第二版 発行日：平成 20 年 5 月 28 日

【発行元】

社団法人組込みシステム技術協会

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町 1-8-12 東実年金会館 8F

JASA ホームページ <http://www.jasa.or.jp/>

【本試験に関するお問合せ】

E-mail etec@certpro.jp

ETEC ホームページ <http://www.jasa.or.jp/etec/>

ETEC 運営事務局（株式会社サートプロ内）

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町 1-8-12 東実年金会館 8 階

TEL 03-5821-7973 FAX 03-5821-0444

【本資料の取扱について】

本資料に関する著作権は社団法人組込みシステム技術協会に帰属します。

その他、記載されている団体名／会社名ならびに商品名／サービス名は、各社の商標および登録商標です。